学校法人享栄学園 鈴鹿短期大学 機関別評価結果 (再評価)

平成24年3月15日 財団法人短期大学基準協会

鈴鹿短期大学 の概要

設置者 学校法人 享栄学園

理事長名 佐治 晴夫

学長名 佐治 晴夫

ALO 久保 さつき

開設年月日 昭和41年4月1日

所在地 三重県鈴鹿市庄野町1250

設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

_	学科	専攻	入学定員
	生活コミュニケーション学科	生活コミュニケーション学専攻	40
	生活コミュニケーション学科	こども学専攻	70
	生活コミュニケーション学科	食物栄養学専攻	40
		슴言	† 150

専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

専攻科		入学	<u>定員</u>
専攻科	健康生活学専攻		5
		合計	5

通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

鈴鹿短期大学は、平成22年度評価の再評価の結果、本協会が定める短期大学評価基準を満たしたことから、平成24年3月15日付で適格と認める。

1. 総評

平成 21 年 7 月 9 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、その結果、当該短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を一部満たしていないと判断した。すなわち、当該短期大学を設置する学校法人の財務体質が極めて厳しい状況に置かれており、改善計画とその改善計画の確実な達成が必要と判断した。ただし、本協会は当該短期大学を設置する学校法人の改善意思及び改善計画を確認したので、機関別評価結果を保留とした。

平成 23 年 2 月 16 日付で当該短期大学からの申請を受け、平成 23 年度に評価領域 IX「財務」について再評価した結果、下記のとおり「合」と評価したので、機関別評価を適格とした。今後も継続的に自己点検・評価を行い、教育の質保証と短期大学の向上・充実に努めることを期待する。

2. 領域別評価結果

	評	価	領	域	評価結果
評価領域IX	財務				少

評価領域Ⅱ 財務

当該短期大学は短期大学部門、法人とも3ヶ年支出超過が続いており、負債も多く、 余裕資金も少ないことから、策定した5ヶ年の「経営改善計画」を着実に履行し、財 務の改善を図るよう指摘した。その後、①学生確保・高大連携の強化、②人件費の抑 制、③管理経費の削減、④ガバナンス体制の構築等の改善計画の履行状況の報告があ り、理事長の決意表明の提出もなされた。

その結果、平成 22 年度の学校法人全体及び短期大学部門の消費収支は未だ支出超過にあるが、学校法人全体では支出超過が減少し改善がみられる。短期大学部門においては支出超過が若干増加している。負債は減少し、流動比率の改善もみられる。学校法人全体では、支出超過が改善しているが、更なる努力を要する。当該法人では財務体質改善の取り組みを開始しており、今後の中・長期計画を着実に実行することを期待する。